

第5号 資源工学会々報

第3回総会開かる

名誉会員に米沢 藤井 田辺 齋藤氏

10月26日、恒例の総会が真赤に夕陽を浴びた新校舎第7号館で開催された。去年とくらべ出席者は若干少なかったが(参加者100名)それでも久し振りに顔を合わせた面々がロビーのあちこちに話のウズを作った。

伏見会長の挨拶と経過報告の後、名誉会員として、米沢治太郎、藤井鹿三郎、田辺武男、齋藤平吉の四氏を推選する旨の動議が提出され、満場一致でこれを承認した。なおこの日、齋藤平吉氏を除く三氏は、御都合悪く欠席されたが、齋藤氏より、喜んで受諾する、との御言葉を賜わり、総会第1部は無事終了した。

第2部講演会は、白石芳雄氏(昭12、光和精鋳副社長)の「海外事業 — 特に鉄鋼を中心とした—」によって開幕、海外にのびる日本の工業力のはなばなしの裏にかくされた忍耐と苦心の数々、特に同氏を団長とした「シライシ・ミッション」が、ブラジルに日一伯合弁の「ウヂミナス」製鉄所を建設するまでの地味な作業の様子を知らされるに及んで、参会者一同、身のしまる思いであった。

資源工学科8年生有志による「鋳業労働者の形成する社会」は、彼等が夏休みの実習期間中に集めた資料に基く研究発表であって、鋳業労働者の心理分析、安全作業に対する意識程度を左右する要因等を、学生の立場から観察しまとめ上げたもの。その表現方法はとにかく、今後こうした形態の発表が折にふれてなされるべきであるとの印象を強くした次第である。

懇親会記事 — これはもう皆様方の御想像にまかせよう。とにかく制限時間8時まで、タププリおたのしみ頂いた。唯、タダー一寸心配なこと、それは折角用意したオサケが、 $\frac{1}{3}$

近く手つかずであったこと。お年寄が特に多かった訳ではないのだが、— 採ヤの伝統が、こんなところから破綻をきたすようでは— 皆さん、頑張ってください!!

資源工学会々計報告

昭和42年12月1日より昭和43年10月25日までの会計報告を下記の通りいたします。

1. 収入 総計 476,068円

<内訳>

a. 会費(含銀行利子)	452,568円
b. 寄付金	23,500円
c. 雑収入(42年総会残金)	1,610円
計	476,068円

2. 支出 総計 431,087円

<内訳>

a. 会誌(含発送費)	167,345円
b. 名簿印刷費	160,000円
c. 封筒、切手等	54,332円
d. 会合費	8,150円
e. 印章スタンプ代	5,175円
f. 謝礼(慰労会費等)	2,175円
g. 香典(線香、弔電)	1,985円
h. 交通費、コピー代等	31,925円
計	431,087円

3. 差引残額 総計 44,981円

また第3回総会における収支決算は下記の通りです。ただし残金は資源工学会々計に繰入れさせていただきます。あらかじめ御了承下さい。

1. 収入	総計	92,400円
2. 支出	総計	90,725円
3. 差引		1,675円

砂と山と太陽と

— アフリカ縦断登山隊員の手記 —

久富 征夫

<その3>

黒い紳士達の国々

ナイジェリア北部の州都カノは、ほんの3ヶ月前、すなわち10月1日に暴動があったばかりである。東部州から移ってきたイボ族が北部州の大部分の住民であるハウサ族に襲撃されたのだ。もともと両民族間の歴史的な争いではあるが、ハウサ族がイボ族によって数千人殺された、という誤りのニュースが流れたため、その報復としてハウサ族の襲撃という事態となったものである。丁度、関東大震災の時の「朝鮮人虐殺事件」に類似した情況のように思われた。

アフリカで多くの国々が現在独立を勝ち得たとはいえ、その国境は部族別ではなく、欧州各国が勝手に分割し、区切りを作ったものである。しかも各部族はきわめて強い「部族意識」をもっているから、今度のような事件は起り得べくして起った、といっても過言ではない。現在、こうした紛争が起っている地域は6ヶ所以上、まして事が黒人对白人ということになれば、ますますもって大きくなる。黒人の大陸にできた「南アフリカ共和国」、
「ローデシア」の白人国は勿論のこと、アメリカ合衆国自身にも、いづれ大きな内紛が起るのではないだろうか。

1967年の元旦はこのカノ市で迎えた。西沢株式会社々宅の庭を借り、元旦の食事についた。まさかと思ったオセチ料理とゾウニがでた。女性隊員2人が、昨夜疲れた体に鞭打って作ったものだ。今日は全員休息、昼食も2時半と遅く、少しは元日らしい気分になった。年賀状がこないのは一寸さびしい。

西沢株式会社の浦野氏に、ハマターン煙る町を案内して頂く。今頃サハラ砂漠では砂嵐が吹きまくっていることだろう。これまで通って来た国々と違い、ここはまったく黒人の都である。唯、写真を撮ると小さな子供まで

が「ダッシュ、々々(お金の意)」といって寄って来るのには幻滅を感じた。英国人によってつくられた「チップ制」が、小さな子供まで、意地汚なくしてしまったのだ。

1月7日、カノ市を後に一路カメルーン經由チャドに向う。乾期用と雨期用の道が、別々にあるのは面白い。チャド湖の末端に掛る橋を渡ってカメルーンに入った。カメラの前に面白がって立つ人々に、ナイジェリアの人々と違った何か素朴なものを感じた。

カメルーンとチャドの国境を流れるシャリ川をフェリーボートで渡って入ったチャドの首都フォートラミー、そこに私は初めてアフリカを見た。回教国でないチャドは、男も女も開放的で実に自由なのである。

1月11日、首都フォートラミーで行なわれた記念式典を見物にゆく。報道関係者として大統領席の前に陣取り撮影。軍隊の行進に続いて、各小部族ごとの色とりどりの行進、そのうちに黒人達は熱狂してきた。行進の列の中から踊り出て来て、大統領の前で奇声を発する者、呪い師、雨乞いの踊り、楯と剣を持った戦いのリハーサル、女性の裸踊り。ギラギラと輝やく太陽のもとで、みんな輪を作って踊りだした。豊かな胸を上下にゆきぶり、腰をふるわせ、前に出ては後に退る。

式典が終って夕暮迫る頃、見物人もそこで踊り出した。町全体が狂気のように踊っている。私達もその中の1つの輪に入って彼等の熱狂に加わった。—しかし、踊を踊っている彼等の足下は、今やすっかり舗装道路となっているのだった。

日本を出る時心配していたチャド・スーダン間国境閉鎖問題は、まだそのまゝの状態であった。政府に、通過許可を何回となく交渉した。しかし昨年4月以来、誰も通過できなかった国境の通過は、私達とても例外ではなかったのである。

私達は中央アフリカ共和国經由でスーダンに入るコースを選んだ。地図をみると山道で非常にむづかしそうだ。しかしこれ以外に確かなルートは残されていない。かくして1月17日、フォートラミーを後にした。

1月21日ザクマにて。午前中、ランドクルーザーで動物をみにゆく。この地域は自然公園となっているが、公園といっても柵がある訳でもなく、ただこの地域で、動物を取ってはいけないと定めてあるだけである。

沼地には鹿、イボイノシシなどの草食動物や、色々な鳥が入り乱れて住んでいる。クロコダイルを見ようと、そっと沼に近寄ったが1匹しかみることができなかった。それもカメラのシャッターの音に、たちまち水中に姿を消してしまった。

がっかりして昼食をたべにキャンプに戻る途中、森林の中で象の大群とぶつかった。30頭はいただろう。道の右側から斜に左側へ横切ろうとしている。半分くらいが左側に渡った後、車をぐっと近づける。再び3頭が横切ろうとした。車を止める。象達はぐるっと車の方を向き、じっとしてしまった。その時すでに通過していたリーダ格の巨象が、左後方から私達の方へ突進してきた。すごい啼き声。ガイドが「車を前に」と合図する。前にいた3頭が鼻をもたげた。一瞬、ギヤーをバックに入れる。ガイドが「前へ」と叫ぶ。前にいた象が左に動いた。その後を目がけてアクセルを一杯に踏んだ。エンストしたら大変だ。その瞬間、エンジンの音に驚いて前の象はサッと道を離れた。そこら中でかん高い啼き声がひびく。助かった。

通過した後も心臓の鼓動はなかなかおさまらなかつた。アフリカ象は実に大きい。ランドクルーザーなど、一踏でべしゃんこになるに違いない。もう二度と象の群に会いませんように、と祈りながら、やっとの思いでキャンプに帰ってきた。

— その日の午後、キャンプ場のマネージャに中央アフリカへの道を聞くと、もう5～6年前から道はなくなっているという。我々は迷った。コンゴへのルートは、わざわざお土産持参で殺されにゆくようなものだ。スーダン南部へのルートは現在紛争中、残るは閉鎖中のチャド・スーダン国境突破しかない。若しこれが駄目なら、陸路によるスーダンへの入国は完全に断たれたことになる。金銭的な

余裕はない。再びフォートラミーに帰り、隊は解散するより道がないのである。

悪路を国境の町アベシュに向う。丁度この地に来ていた法務大臣に交渉してみたが、望みは消されてしまった。日本で、「登山隊行方不明」が報じられたのは、丁度この頃であった。日本への通信など、考えている暇がなかったのである。フォートラミーに戻り、隊は解散すること、みんなそう考えていたのである。

1月26日の日記にはこう書かれている。

— 1月26日、アベシュ出発、800Kmをフォートラミーに向う。トラックの命もあと3日を残すだけとなった。日曜日迄にフォートラミーに着くよう行動する。兎に角3日間が最後となるので、トラック、ランドクルーザーをみんなで交替に運転し、夕方は夕日の沈む頃幕営することにきめた。最後は無理せずに楽しくゆくためである。久し振りに幕営した後で夕日を見た。火を囲み、歌を唄った。今日、アフリカで5回目の満月が回ってきた—。

フォートラミーに帰って、再び政府に最後の交渉を試みることになった。1日、また1日と無駄に日がすぎていく。そうしたある日、大統領から許可のおりる可能性があるとの情報をキャッチした。そして2月4日、ほとんどあきらめていた許可がおりたのであった。

再び希望が湧いてきた。これで東アフリカまで行けるかも知れない。2月6日、勇躍出発。7日は徹夜で走った。午前中ランドクルーザーを100Km運転した後、トラックを450Kmぶっ続けで運転、アベシュに着いたのはもうちき8日の夜が明けようとする4時半になっていた。

* * *

* * * * *

名簿の訂正、変更等

その後判明しました住所変更、訂正等をお知らせいたします。なお、前号でお知らせ致しました庄武彦(S3)氏は、確かに御存命です。つつしんでお詫びいたします。

氏名	訂正・追加部分	備考
〔あ〕		
安藤 忠男(S7探)		逝去
阿部 睦広(S27鉦)	自営(三協自転車商会)	勤務先追加
相沢 則之(S31鉦)		転居出不明
相羽 忠雄(S5探)		逝去
赤須 弘道(S20探)	金沢市つつじ丘45	地番変更
赤羽 功司(S41資)	沖電気工業(株) 中野区上高田1-34-8	勤務先判明、地番変更
秋山 祚和(S27鉦)		転居先不明
浅井 忠一郎(S39資)	新宿区百人町2-207	長岡鉦業所削除 住所変更
朝倉 健(S25探)	町田市南大谷821-16	若松工場削除 現住所判明
荒田 伸治(S28鉦)	ダイヤコンサルタント(株)	勤務先変更
新井 菊寿(T4探)	(052) 851-1270	電話番号追加
〔い〕		
伊賀 三郎(S16探)	県立神戸工業高校 神戸市垂水区星陵台5-2-5	勤務先変更 現住所判明
伊原 遼(S23専)		転居先不明
石井 東作(T6探)		逝去
石井 仁(S30鉦)	吉沢石灰工業(株) 木更津市永井作 712-2 吉沢清見台社宅202	勤務先判明、現住所変更
市島 幹士(S32鉦)	自営(銃砲火薬店)	勤務先追加
糸永 康雄(S23探)	釧路市興津83	住所変更
今井 功(S22専)	世田谷区代田1-20-12	住所変更
今井 昇(S22探)	保谷市下保谷5-13-8	地第変更
今井 明(S25探)	三菱セメント(株)	勤務先変更
〔う〕		
宇井 一郎(S23専)	中野区鷺宮6-29-3 (999) 4202	住所変更
宇野 康夫(S28鉦)	(045) 421-7540	電話番号訂正
植山 義久(T15探)	川鉄化学(株) 稲毛町1-2-2	勤務先判明、住所訂正
薄葉 衛(S28鉦)	旭町2-9-12	住所地番変更
内山 進(S19探)	(株)帝国コンデンサ製作所	勤務先変更
浦田 洋(S12探)	伊丹製作所	勤務先名追加
〔え〕		
江尻 洋夫(S36鉦)	登戸町5-13-2	住所地番変更
遠藤 裕孝(S27鉦)		勤務先削除、転居先不明

〔お〕

小笠原 千代治 (T12 探)	チヨダレストラン(株), 千代田区内幸町2-1-1	飯野ビル	勤務先変更
小 川 本 善 (S25 探)	小川合金工業(株)		勤務先変更
小 川 義 裕 (S40 資)	練馬区豊玉南1-14		住所変更
小 野 宏 平 (S24 専)	鉄道公団宿舍503号		住所一部変更
小 野 勝 理 (S29 鉦)	船矢島建設, 中野区沼袋2-32-2	(386)3131	勤務先追加
尾 形 守 房 (S36 鉦)	同左東茂住592		住所追加
織 田 忠 旻 (S23 探)	港区港南4-6-57		勤務先住所変更
織 田 武 朋 (S26 鉦)	織田忠旻, 追手俊行, 間に入れる		氏名脱落
追 手 俊 行 (S34 鉦)			逝去
大 内 健 嗣 (S36 鉦)	砂子坂401		地名変更
大 川 直 樹 (S43 資)	山田町宮田方		住所一部変更
大 坂 敏 明 (S41 資)	中野区江古田1-2-5	さくら荘	住所変更
大 滝 新 作 (S17 探)	村上市上片町	(02545)2-3761	地番変更
大 滝 茂 (S22 専)	世田谷区上用賀1-1-2-106		住所変更
太 田 保 雄 (S12 探)	万能工業(株)		勤務先変更, 同住所削除
太 田 豊 治 (S19 探)	新城市字鯉淵46-6	清水方	住所変更
太 田 仁 (S35 鉦)	日本坩堝(株)大阪工場		勤務先変更
岡 部 英 雄 (S13 探)	千葉市松波1-15-5		地番変更
岡 本 昌 巳 (S42 資)			転居先不明

〔か〕

金子 伝太郎 (S40 資)	神戸市, 神戸区を市に訂正		
上 石 実 (S23 専)	広島カラー現像所		勤務先住所変更
	広島市大芝町1-11-4		
川 島 康 一 (T8 探)	福岡市赤坂4		住所判明
河 合 正 (S15 探)	八戸市長根15-2	東北砂鉄長根寮	住所変更
顔 恵 民 (S30 鉦)	三陽貿易(株)		勤務先判明

〔き〕

清 政 武 夫 (S12 探)			逝去
-----------------	--	--	----

〔く〕

久 保 征 之 (S35 鉦)	長岡市城岡2-11-11		勤務先住所訂正
-----------------	--------------	--	---------

〔こ〕

小 池 武 久 (S42 資)	朝霞市岡1198-41	斎藤方	住所変更
小久保 亮 一 (S41 資)	三菱重工業(株) 明石市魚住町清水字溝下		勤務先判明, 住所変更
	95-1三菱重工第2 鴨谷寮		
古 賀 本 行 (S27 鉦)	神長ボーリング工業(株)		勤務先名変更
後 藤 閣 一 (S26 鉦)	金沢市彦三町2-2-13		勤務先住所追加
高 銘 容 (S39 資)	米屋商事(株)		勤務先名追加
近 藤 悦 哉 (S22 探)	武蔵野市吉祥寺南5-14-11		住所追加
権 田 尚 (S24 探)	京浜製鉄所		勤務先名追加

〔さ〕

五月女 忠 彦 (S38 資)	文京区千石町2-27-9		住所追加
佐々木 誠 一 (S36 鉦)	三菱金属鉦業(株)下川鉦業所, 北海道上川郡下川町		勤務先変更

佐藤一郎 (S19 探)	石川県穴水町字甲12	住所追加
佐藤功 (S36 鉦)	墨田革漣(株) 市川市管野2-13-18	勤務先名, 地番変更
佐藤博康 (S37 資)	大進金属(株) 豊中市本町4-74	勤務先追加, 住所変更
佐藤興 (S38 資)	大分市大字三佐字八幡島, 昭電独身寮	住所変更
佐藤政明 (S41 資)	荒尾市大島下区435 松影寮	住所変更
斎藤直毅 (T9 探)		逝去
斎藤乙熊 (S22 専)	墨田区太平3-14-1	住所変更
(S25 探)	光和マンション306	
斎藤州央 (S24 専)	富士自動車(株)	勤務先変更
崔享燮 (S19 探)	城北区下月谷洞山5-47 同左内	勤務先, 住所変更
崎本源二 (S36 鉦)	神宝町1-8-12	住所一部訂正
坂元隆之 (S43 資)	三鷹市上連雀1-11-15 NUK寮4-1	住所判明
酒向茂夫 (S27 鉦)	富士バルブ(株), 大田区東糞谷2-12-22	勤務先, 同住所変更
桜田武徳 (S33 鉦)	横浜市戸塚区戸塚町475-5 A308 (045)871-5369	住所変更
桜羽長嘉 (S32 鉦)	吹田市竹見台1-1 C-24-107	住所変更
鮫島定信 (S19 探)	安楽定信, 宮内庁 [あ] の部に入る	改姓, 勤務先変更
[し]		
志鎌晃 (S33 鉦)	大田区西蒲田5-12-17	住所追加
庄武彦 (S3 探)	志村滋, 塩沢正一, 間に入れる	「逝去欄」からはずす
塩沢幸夫 (S22 専探)	愛媛県宇摩郡別子山村	住所削除, 勤務先住所追加
塩沢富夫 (S32 鉦)	武蔵野市八幡町2-5-9-106	住所変更
島崎猛 (S26 探)	小平市上水南町646-5-18	住所変更
清水伸夫 (S26 探)	横浜市港北区田園青葉台団地9-402	住所変更
下村成史 (S25 探)	和歌山鋼業(株) 和歌山市木ノ本町石橋	勤務先変更, 住所削除
生野雄一郎 (S29 鉦)	生野学園	勤務先変更
白井徹 (S40 資)		住所削除
白神憲悟 (S19 探)		逝去
[す]		
須賀健夫 (S26 探)	藤沢市高倉325	住所変更
杉浦稔 (S36 鉦)	小松町1-1-27	番地訂正
鈴木鎮夫 (S25 探)	名古屋市千種区田代町鹿子殿81-985 第2住宅2-12	住所追加
鈴木正孝 (S31 鉦)	日商岩井(株)長崎支店	勤務先変更
鈴木建史 (S36 鉦)	北多摩郡狛江町和泉2618 三友アパート126	住所変更
[せ]		
瀬野敏夫 (S12 探)	名古屋市千種区光ヶ丘5-5 (052)711-5856	住所変更
[そ]		
園田道夫 (S23 探)	三菱セメント(株) 横浜市鶴見区獅子ヶ谷463	勤務先変更 住所追加
[た]		
田中俊二 (S35 鉦)	大田区鵜の木2-32-16 青葉荘	地番変更
田中清治 (S36 鉦)	金属金物探鉦促進事業団 3-18-18	勤務先変更, 番地訂正

田 辺 友 和 (S13 採)	西宮市門戸岡田町100	住所変更
高 橋 晴 一 (S21 採)	山形県企業局	勤務先名訂正
高 原 純 一 (S33 鉱)	小平市小川東町2041 守谷社宅	住所追加
高 見 英 明 (S21 採)		住所削除
竹 内 新 吉 (S27 鉱)	上北沢5-50	番地訂正
立 岩 精 (S20 採)	三菱重工業(株)	勤務先名訂正
谷 口 次 郎 (S17 採)	魚貫炭鉱(株)福岡事務所, 福岡市薬院塩入町 25-1 福岡県筑紫郡春日原東町4-69	勤務先判明 住所判明
〔ち〕		
千 葉 皓 哉 (S30 鉱)	関西ペイント(株)	勤務先追加
	豊中市旭丘11-102-102	住所変更
鎮 守 次 郎 (S34 鉱)	アブダビ石油(株)	勤務先変更
	渋谷区幡ヶ谷1-31-7-706	住所追加
千 野 真 土 (S42 資)	神戸市灘区高羽字寺口19 森本方	住所追加
〔つ〕		
津 田 道 寛 (S31 鉱)	札幌市厚別町下野幌435-99	住所変更
津 田 正 臣 (S41 島)	日本冶金(株)	勤務先名追加
塚 越 邦 光 (S42 島)	吹田市千里山西1-9-22	住所変更
塚 本 武 一 (T 5 採)	岐阜市加納丸ノ内国鉄宿舍 篠原方	勤務先削除, 住所追加
堤 秀 男 (T13 採)	西1丁目	住所に一部追加
〔と〕		
十 市 孝 (S33 鉱)	西武鉄道観光部	勤務先名追加
土 井 篤 (S22 専)	高石市千代田1-9-14	地番変更
土 橋 雄 次 (S35 鉱)	鹿島建設(株) 糸魚川市横町309	勤務先追加, 住所訂正
外 山 欽 也 (S35 鉱)	杉並区永福町416	住所追加
富 永 裕 (S17 採)	「日本物探」を削除	
鳥 畑 敏 夫 (S20 採)	下松工場を削除, 千葉県八千代市高津1594	住所変更
〔な〕		
名 出 恵 郎 (S13 採)	取手町取手乙-980-5	地番変更
直 坂 英 夫 (S25 採)	真坂〔ま〕の部へ入る	
中 川 国 夫 (S19 採)	大倉商事(株)大阪支店 芦屋市浜町14-2	勤務先変更 地番変更
中 島 貞 照 (S37 資)	横浜市金沢区金沢文庫公団住宅3-601	住所変更
中 村 清 二 (S18 採)	西宮市北口町29-17	住所追加
中 村 克 巳 (S22 採)	瑞穂建材工業(株) 青梅市東青梅3-14-19	勤務先変更 住所変更
中 村 三 男 (S25 専)	府中市住吉町4-11-2	住所変更
永 井 明 (S35 鉱)	丸紅飯田(株) 横浜市鶴見区矢向2-7-19	勤務先変更, 住所追加
長 嶋 吉 男 (S32 鉱)	美唄炭鉱(株) 美唄市東美唄常盤台1区T52	勤務先変更 住所追加
〔に〕		
西 川 信 夫 (S20 採)		転居先不明
西 田 稻 男 (S22 採)	東京支社を削除, 大阪市東区北浜3-5 豊中市千里園2-68 (068)52-9119	勤務先変更, 住所追加

西田 昭 孝 (S30 鈺)	住所を削除	
西野 正 (S32 鈺)	大同コンクリート(株)秩父工場 埼玉 県秩父郡皆野町皆野 2511	勤務先変更, 住所変更
西村 光 一 (S22 専) (S25 鈺)	(財)石炭技術研究所, 北区西ヶ原町 2-12-16	勤務先変更, 住所変更
蟻川 義 明 (S32 鈺)	東海事業所, 茨城県那珂郡東海村村松	勤務先変更
〔の〕		
野瀬 正 保 (S39 資)	相模原市上鶴間 4 2 2 7	住所変更
〔は〕		
芳賀 俊 雄 (S21 採)	東新瀝青(株) 中央区日本橋江戸橋 2-5 (273)3551 川崎市小杉町 3-2 3	勤務先変更, 住所追加
馬場 裕 之 (S22 専)	大淀区豊崎西通 1-7	住所変更
橋本 文 作 (S26 採)	小平市大沼町 1-117-5	住所変更
長谷川 久 寛 (S22 専)		転居先不明
服部 元 文 (T 7 採)		逝去
花田 賢 司 (S38 資)	金沢電子計算センター	勤務先変更
〔ひ〕		
桧垣 大四郎 (S40 資)	藤市塚越 5-5-12 みゆき荘	住所追加
平井 千 博 (S32 鈺)	日本揮発油(株) 横浜市南区最戸町 100 横浜市神奈川区白幡上町 200	勤務先変更 住所変更
平沢 重 弥 (S20 採)	東芝電気器具(株) 住所中「松ヶ関」を「松ヶ岡」に訂正	勤務先名訂正
広井 良 平 (S18 採)	住所に「門田社宅 42 号」を追加	
広岡 成 泰 (S39 資)	田無市北原町 1-26-9 グリーンハイツ	住所変更
〔ふ〕		
富士 昇 一 (S19 採)	西尾工業(株) 目黒区目黒本町 5-26-8 (714)3521	勤務先追加
藤田 忠 男 (S 7 採)	武庫之荘 4-17-15	地番変更
藤原 謙 三 (S30 鈺)	謙二, 三を二に訂正	
藤本 明 弘 (S39 資)		転居先不明
藤本 知 之 (S43 資)	藤沢市辻堂 120 協同石油独身寮	住所追加
舟木 襄 (S18 採)	日本重化学工業(株)	勤務先変更
舟田 四 郎 (S13 採)	(株)富士工業所京浜事業所, 飯能市前 ヶ貫 240-11	勤務先, 住所変更
〔ほ〕		
本間 郁 雄 (S20 採)	郁男, 雄を男に訂正	
〔ま〕		
真坂 英 夫 (S25 採)	日本鋳業(株)佐賀製錬所, 大分県北 海郡佐賀関	〔ま〕の最上段に入れる
毎熊 輝 記 (S38 資)		転居先不明
前川 弘 明 (S33 鈺)	赤平市字平岸住友団地	住所変更
増川 信 一 (S23 専)	神田町 1-3-15	地番変更
松井 重 和 (S23 採)	市立文の里中学校, 大今里本町 1-36	勤務先, 地番変更
松浦 兼 生 (S34 鈺)	特許庁運輸部	勤務先追加

松木 成文 (S39 資)	神戸電機(株)守口工場 大阪府守口市 曉町2-3	勤務先、住所変更
松田 弘 (S30 鉦)	日鉄八莖鋳業所、福島県いわき市四 倉町玉山社宅	勤務先、住所判明
松信 一雄 (S41 資)	日本テレビ放送網(株)	勤務先判明
松橋 俊一 (S40 資)	豊中市蛸ヶ池北町2-4-4 大阪鋼材蛸雪寮	住所追加
〔み〕		
三井田 逸郎 (S16 採)	水島工場、倉敷市中庄団地10-8	勤務先変更、住所追加
三堀 俊一 (S42 資)	川崎市鹿島田5-5 ブリヂストン平間寮	住所変更
皆川 敦 (S30 鉦)	千代田区神田鎌倉町10 中信ビル	勤務先住所を追加、現 住所削除
〔む〕		
村上 与四郎 (S25 採)	港区六本木3-4-36	地番変更
村木 弘昌 (S27 鉦)	昭和グラビヤ化学(株) 東大阪市柏田860	勤務先変更
村島 靖 (S23 専)	西那須町東町4-4	住所一部追加
〔も〕		
本吉 和男 (S19 採)	三井金属夕陽ヶ丘社宅	住所一部訂正
守田 浩 (S22 採)	東名高速道路浜名湖工事々務所を削除	
〔や〕		
矢沢 辰郎 (S16 採)	三菱重工業(株)名古屋製作所、戸部町 3-6-3	勤務先、住所一部訂正
安江 節夫 (S22 採)		転居先不明
薮 英丸 (S22 採)	奥多摩建設工業(株)	勤務先変更
山崎 征彦 (S40 資)	芦屋市平田北町3-17 筒井方	住所変更
山下 広 (S13 採)	榎本鑄造(株) 西宮市段上町 桜を段に訂正	勤務先追加
山下 隆三 (S22 専)		転居先不明
山田 隆三 (S29 専)	工業技術院標準部、杉並区方南1-12-6	勤務先、住所変更
山田 邦明 (S41 資)	東北大、仙台市長町3-3-24	住所変更
〔ゆ〕		
油井 崇 (S43 資)	新丸ビルを新東京ビルに訂正	
〔よ〕		
揚 桂江 (S38 資)	ロバート・K・ヨーに改姓名	
吉井 憲 (S33 鉦)	音羽鉦山、北海道紋別市小向八十士を削除	
吉田 二雄 (T 8 採)	三和鋳業相談所	勤務先追加
吉永安 伸 (S40 資)	宮古工場、宮古市小山田7-1-5 和山社宅	勤務先、住所変更
米山 和男 (S27 鉦)	三菱セメント(株) 千代田区丸ノ内 1-4-1 新丸ビル	勤務先変更
〔わ〕		
渡 千春 (S22 専)	勤務先、住所を削除	
渡辺 忠 (S37 資)	大成建設(株)	勤務先追加
渡辺 誠一 (S36 鉦)	鎌倉市材木座3-9-19	住所追加

◇ お 願 い ◇

資源工学会の活動もどうやら軌道に乗り始めましたことは御同慶の至りであります。これ一重に会員各位の絶大なる御協力の賜物と感謝いたしております。

しかしながら会計報告にも示しました通り、昭和43年度の手持資金は約5万円を残すのみとなりました。これは会報1回発行分とほぼ等しい金額であります。したがってこの第5号発行後における財源は、ほとんどゼロということになります。

去る10月5日開かれました役員会でもこの点が問題になり、会費値上、会報発行回数を少なくする、あるいは会則に基き会費未納者への会報発送停止、といった意見もでしたが、とに角今年度中は従来通りやってみよう、勿論その間に会費未納者への啓蒙活動を積極的におこなう、ということになりました。

つきましては大変失礼とは存じますが、会費未納の方々には振替用紙を同封いたしましたので、これを御利用の上御納入の程、切に御願い申し上げます。なお銀行振込の場合は、協和銀行早稲田支店・資源工学会・代表者井上勇宛でお願いします。

現在、連絡可能な会員数1400、うち会費御納入済会員(ただし42年度分のみ御納入の方を含む)500、という実情おくみとり頂ければ幸甚です。

~~~~~  
\* あ・ら・かると・A・L・A・CARTÉ \*  
~~~~~

◎名誉会員・斎藤平吉氏より、金5万円の寄付を頂きました。厚く御礼申し上げます。なお名誉会員四氏の御住所は下記の通りです。

米沢治太郎 中野区鷺宮1-26-7
藤井鹿三郎 中野区白鷺2-8-5
田辺 武男 横須賀市三春町3-37
斎藤 平吉 豊島区目白4-9-7

◎今井直哉先生、11月2日濠洲より帰国、田中正男先生、病气静養中ですが大分体力を回復された由ですので御安心下さい。

◎東大・日大と火の手は仲々おさまりそうにない状態、わがワセダは、目下火事場見物といったところですが、火の粉は何時降り掛るか、予断を許さぬ形成です。そして、火の手が上った時、必らず云われる言葉が『話し合いの不足』。如何にも漠然とした言葉ですが同時にこれ以上具体的な言葉もまた無いと思えます。すなわち、我々は常に『会報』を通して『心のパイプ』をつなぎ合わせる事が可能なのですから—。

◎採や—資源の特徴かも知れませんが、とにかく住所等の変更が多く、会報発送の度に十数通の「転居先不明」が生じています。今回の訂正は、9月1日から11月20迄の約80日間分で、すでに200件を数えました。おそれ入りますが、転居、地番変更等ありましたら、早速当会宛御連絡下さい。

◎名簿発刊は一応4年置きを予定しています。また住所変更等は、会報でお知らせ致しますので、御手数ですがその都度名簿に御訂正おき下さい。

◎“宿かきぬ火影や雪の家つづき” 蕉村 何時の間にか12月、まったく月日の経つのは早いものです。4年生の就職問題も片付き(お蔭で本年も100%の就職率でした)目下卒業論文の仕上げに懸命?といったところ、来春無事「社会への入学」を果せ得ました折は、よろしく御鞭撻の程を。

資源工学会 東京都新宿区西大久保4-17 電話(363)3211
早稲田大学理工学部資源工学科内 内線(仮)381
(振替番号) 東京・143534 (非売品)